

大学のホームページからの情報収集の仕方

大学の使命は、大きく分けて「研究」と「教育」です。

1. まずは、各大学のホームページ にアクセスして、その大学の特徴的な「研究」と「教育」概要を確認して下さい。
 - ・一般的に国立大学は「研究重視」、公立大学、私立大学は「教育重視」の傾向にあります。
2. 各大学の研究活動を調べるポイントは、以下通りです。
 - ・各大学の研究の中で、特に「世界の最先端の研究」を行っている大学は、文部科学省の「[グローバル COE](#)」に選定されています。
 - *特に、旧帝国大学（東大、京大、阪大、東北大、九大、北大、名古屋大）及び東工大は、多数の「[グローバル COE](#)」に選定されています。
 - *また、上記大学の大学院では、多くの優秀な外国人を受け入れています。この傾向は、今後加速していくことが予想されます。
 - *例えば、東大大学院では、中国の最難関大学のトップクラスの学生が 1,000 名近くも入学しています。
 - ・理系は、大学院が勝負です。例え、運良く旧帝国大学や東工大に合格しても、学部の 4 年間の成績が悪いと、大学院に進学できない場合もあります。
 - ・逆に、旧帝国大学以外の地方の国公立大学や早稲田大、慶応大などの名門私立大学から、旧帝国大学や東工大大学院への道も拓けています。
 - *旧帝国大学や東工大への入学が厳しい受験生は、合格圏内の志望大学から「旧帝国大学大学院」などへの進学実績を調べて下さい。
 - *「[大学院進学時における高等教育機関間の学生移動](#)」（10.2.3 中央教育審議会大学分科会大学院部会理工農系 WG 資料参照 文部科学省 HP）
3. 次に各大学の教育内容について、調べるポイントは以下の通りです。
 - ・1 年生から 4 年生（又は大学院修士課程までの 6 年間）の教育の概要を確認して下さい。
 - *各大学の学部・学科のホームページには、大学の授業の内容（シラバス）が必ず掲載されていますので、確認しましょう。
 - ・特に、一般教養科目で、どのような特徴的な教育をしているか、その大学の「**売り：特徴**」をしっかりと確認して下さい。
 - *これからの時代、専門教育より「**一般教養教育**」の方がより重要です。（専門科目は、2～3 年で陳腐化してしまいます。）

＊専門科目は、就職後、仕事をしながら、勉強が可能です。（企業でも、社員教育のプログラムを準備しています。）

＊一方、一般教養科目は、生涯に渡って社会人として成長し続けるための「**貴重な栄養分**」になります。

- ・一般的には、上記旧帝国大学など難関国立大学ほど「一般教養科目」が充実している傾向にあります。
- ・教養教育に力を入れている大学は、やはり上記の旧帝国大学や、国際基督教大学などが挙げられます。
- ・英語で授業を行ったり、多数の外国人留学生を受け入れている大学としては、国際教養大学（秋田県）や早稲田大学国際教養学部などがあります。

[大学の教育に関する参考図書]

- ・友野伸一郎著「[対決！ 大学の教育力：大学は教養で選べ！](#)」（2010年3月30日 朝日新聞出版）

＊著者の友野伸一郎さんは、誠之館高校の1年先輩です。

＊好事例として紹介されている主な大学（学部）の一部を紹介します。詳細については、本を購入して読んで下さい。

- ①室蘭工業大学、②岩手県立大学（ソフトウェア情報学部）、③国際教養大学、④東北大学、⑤金沢工業大学、⑥三重大学、⑦広島大学、⑧福井大学、⑨九州大学、⑩山口大学、⑪東京大学教養学部、⑫慶応義塾大学 SFC、⑬早稲田大学国際教養学部など

以上